

2026年6月27日 昼下がりの演奏会 #8  
於：CampGear&Cafe BASE

13:30～プレトーク / 14:00～演奏会

- Performer -

Marimba

中田龍河

中村和奏

奥柚葉

- Program -

イタリア協奏曲 BWV971 より 第3楽章  
(ヨハン・セバスティアン・バッハ 作曲)

メイフル・リーフ・ラグ  
(スコット・ジョズリン 作曲)

熊蜂の飛行  
(ニコライ・リムスキー=コルサコフ 作曲)

ピアノソナタ K.310 より 第1楽章  
(ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 作曲)

子犬のワルツ  
(フレデリック・ショパン 作曲)

虹の彼方に  
(ハロルド・アーレン 作曲)

リベルタンゴ  
(アストル・ピアソラ 作曲)

### イタリア協奏曲 BWV971 より 第3楽章

(ヨハン・セバスティアン・バッハ 作曲)

ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)は、ドイツ・バロック音楽を代表する作曲家で「音楽の父」とも呼ばれる。彼の息子にはC.P.E. バッハがいるが、生前はヨハン・セバスティアンよりも有名であったという。

『イタリア協奏曲』は1735年に出版された鍵盤楽器(チェンバロ)のための作品である。当時ヨーロッパで流行していたイタリア風の協奏曲を、一台の鍵盤楽器だけで表現しようとした意欲作で、独奏と合奏の掛け合いが聴こえるよう巧みに書かれている。

本日演奏する第3楽章は、生き生きとしたリズムと華やかな音型が特徴の、エネルギーに満ちた終楽章である。

### メイプル・リーフ・ラグ

(スコット・ジョプリン 作曲)

スコット・ジョプリン(1867か1868-1917)はアメリカの作曲家・ピアニストで、「ラグタイム王」と呼ばれる。

『メイプル・リーフ・ラグ』は1899年に出版され、ラグタイムを代表する作品として広く知られている。タイトルは、彼が演奏していたアメリカ・ミズーリ州の社交クラブ「メイプル・リーフ・クラブ」に由来するとされる。

ラグタイムは19世紀末から20世紀初頭のアメリカで流行した音楽で、ヨーロッパ由来の行進曲やダンス音楽と、アフリカ系アメリカ人の音楽文化が融合して生まれた。左手が規則正しい伴奏を刻む一方で、右手が拍の裏を強調した旋律を奏でる「シンコペーション」が最大の特徴である。この独特のリズム感は当時の人々に新鮮な驚きを与え、その後のジャズやポピュラー音楽の発展にも大きな影響を与えた。

### 熊蜂の飛行

(リムスキー＝コルサコフ 作曲)

リムスキー＝コルサコフ(1844-1908)によ

るオペラ『サルタン皇帝』中の間奏曲である。サルタンの息子グヴィドンが蜂に姿を変え都へ飛んでいく場面で使われる曲だが、現在ではこれ単体が様々な楽器によって演奏され、テクニックを披露するような曲として親しまれてもいる。

ちなみにこの解説は、#5のフルート&ピアノのときと全く同じ。このように、様々な楽器で演奏されるほど、演奏会ではポピュラーな曲なのは間違いない。

### ピアノソナタ K.310 より 第1楽章

(W.A. モーツァルト 作曲)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)は、オーストリアの作曲家。

『ピアノソナタ第8番 イ短調 K.310』は1778年に作曲された。モーツァルトのピアノソナタの中では珍しい短調作品(ピアノ作品に限らず、彼の作品は長調が多いのは有名な話である。そのため彼の短調の作品はとりわけ印象深く、しかもどれもが「名作」と語られることが多い)であり、激しい感情表現が特徴である。

彼は演奏旅行中に母を亡くしており、この作品にはその悲しみが反映されているとも言われる。第1楽章は緊張感のある主題と劇的な展開によって、若い頃の内面が強く表現されている。

### 子犬のワルツ

(フレデリック・ショパン 作曲)

フレデリック・ショパン(1810-1849)はポーランド出身の作曲家・ピアニストで、「ピアノの詩人」と呼ばれる。

この曲は正式には『ワルツ第6番 変ニ長調 作品64-1』という。ショパンの友人であった作家ジョルジュ・サンドが飼っていた子犬が、自分のしっぽを追いかけてくるくる回る様子から着想を得たという逸話が有名で、ショパン作品の中でも特に親しまれている一曲である。

### 虹の彼方に

(ハロルド・アーレン 作曲)

原題『Over the Rainbow』。1939年公開の映画『オズの魔法使』のために作られた楽曲で、作曲はハロルド・アーレン（1905-1986）、作詞はエドガー・イップ・ハーバーク（1896-1981）が手掛けた。主人公ドロシーが歌うこの曲は、「虹の彼方にある夢の世界」への憧れを描いており、映画音楽史上最も有名な歌曲の一つとして知られている。

### リベルタンゴ

（アストル・ピアソラ 作曲）

アストル・ピアソラ（1921-1992）はアルゼンチンの作曲家・バンドネオン奏者である。『リベルタンゴ』は1974年に発表された代表作。タイトルは「Libertad（自由）」と「Tango（タンゴ）」を組み合わせた造語。

ピアソラは伝統的なタンゴにクラシック音楽やジャズの要素を取り入れ、「ヌエボ・タンゴ（新しいタンゴ）」という新しい音楽を生み出した。

力強いリズムと情熱的な旋律が特徴で、ピアソラの世界を象徴する一曲である。

（文・仮屋賢一）

---

### 【演奏者】 マリンバ・打楽器

中田龍河（なかだ・りょうが）

（Instagram：@nakadaryoga）

埼玉県越谷市出身。

5歳よりピアノを、9歳より打楽器を始める。東京学芸大学国語選修を卒業後、大阪音楽大学音楽学部打楽器専攻へ3年次編入。「2024年度大阪音楽大学卒業演奏会」に出演。2026年3月、同大学専攻科器楽専攻打楽器修了。

関西打楽器協会主催第39回打楽器新人演奏会にてヤマハ賞。全日本打楽器連盟ルディメンツジャパンセミナー2025フレッシュコンサートにてグランプリを受賞。Marimbafest Australia 2025 Solo 部門セミファイナリスト。

これまでに打楽器を寺山朋子、伊坂浩嗣、ピアノを北村明子、芹澤佳司（副科）の各氏に師事。現在、フリーランスの打楽器奏者として、オーケストラや吹奏楽の客演を務めている。

また、アンサンブル活動や部活動指導にも精力的に取り組んでおり、「打楽器アンサンブル HIBIKI」音楽ディレクターを務めるほか、2025年10月には打楽器デュオユニット「AZURE」リサイタルを開催。

その他、妹である中田優愛菜とのマリンバデュオ活動も行っている。2025年11月には、豊中市庄内のカフェ「路地裏のマチルダ da」にてミニコンサートを開催した。

### 中村和奏（なかむら・わかな）

石川県加賀市出身。9歳より吹奏楽部で打楽器を始める。大阪音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。同大学「2024年度卒業演奏会」に出演。第9回堺管打楽器コンクール一般の部第2位。関西打楽器協会主催第39回打楽器新人演奏会にて Pearl 賞受賞。全日本打楽器連盟ルディメンツジャパンセミナー2025フレッシュコンサートにてプレジデント賞受賞。

これまでに葛西友子、田嶋翠の両氏に師事。現在、関西を中心に吹奏楽やオーケストラへの客演、打楽器アンサンブルでの演奏活動を行うほか、未就学児から社会人まで幅広い世代を対象とした打楽器指導にも力を入れている。

SevenStepMusic 打楽器専科、ドラム専科、ドラム&ピアノ科講師。中学校高等学校教諭一種免許状（音楽）取得。

### 奥柚葉（おく・ゆずは）

大阪府八尾市出身。3歳よりエレクトーンを始め、10歳から12歳までドラムを経験。中学入学と同時に吹奏楽部に入部し、打楽器を始める。高校在学時には、大阪府高校選抜吹奏楽団のオーディションに合格し、第105回全国高

等学校野球選手権記念大会の開会式・閉会式にて演奏を担当。

これまでに打楽器を葛西友子氏に師事。現在、大阪音楽大学音楽学部音楽学科打楽器専攻3年次在学中。学内選抜学生による第85回ミレニアムスチューデントコンサートにソロマリンバで出演。

昼下りの演奏会 vol.6 ではピアノで出演。第15回関西の音楽大学オーケストラフェスティバルに出演予定。

**プレトーク・司会：**

**仮屋 賢一（かりや・けんいち）**

作曲家で俳人。

2025年、大阪・関西万博のステージのために『Uni-Tunes』を作曲、また本番ではこの曲を含め、万博にて指揮を務める。2017年、イタリア・アルバ音楽祭に作曲家として参加し、フルートオーケストラのための『蝶 Le Farfalle』を新作初演。また、武満徹作曲のピアノ曲『ロマンス』をフルートオーケストラ用に編曲し、こちらも初演。2024年3月には、私立高等学校の吹奏楽部定期演奏会において、オリジナルミュージカル曲の作詞作曲を担当。

また、今様音楽企画のメンバーとして、「美山音楽祭」の準備・企画・運営に尽力。音楽祭期間中は、新曲の初演のみならず、司会やワークショップ講師やトークショー登壇なども行う。

作曲は独学。今様音楽企画、関西現代音楽交流協会、関西室内楽協会に所属。

俳人や俳句講師としても活躍しており、俳句雑誌「奎」代表を務めるほか、NHK ラジオ第一「関西ラジオワイド」内のコーナー「関西街角再発見」では、俳人として2026年度より案内人の一人に加わる。

## 昼下りの演奏会

於：CampGear&Cafe BASE

《今後の予定》

# 9

2026年7月18日（土）

サクソフォン&パーカッション

#10

2026年8月15日（土）

サクソフォンデュオ&ピアノ

以降も毎月開催

最新情報はWebサイトをチェック！  
13:30～プレトーク／14:00～演奏会  
入場無料・0歳から入場可・出入自由  
～「昼下りの演奏会」とは～

ここCampGear&Cafe BASEを、「誰でも気軽に音楽と触れ合える」場にしたい、そんな思いで2025年11月に開始したシリーズです。本格的でありながら、ふらっと訪れて、気軽に楽しめる演奏会です。

普段クラシックに馴染みのない人でも、よく行く公園でふらりと立ち寄った先で音楽に触られる、そんな空間をすることで、クラシックに親しみを持ってもらい、音楽の世界のファンになってもらいたい！

また、新進気鋭の若手音楽家にとって、演奏の場だけでなく、お客様と交流できる場を作りたい！

そんな思いで、この演奏会を企画しております！

主催：

合同会社リコラボ

代表 仮屋賢一（作曲家・俳人）

ウェブサイト <https://ricollab-create.com/>

お問い合わせ：075-275-7570

[info@ricollab-create.com](mailto:info@ricollab-create.com)

右のQRコードからLINE友だち登録して、イベント最新情報をGET！ここからお問い合わせもしていただけます。

